

デジタルビデオレコーダー

クイックガイド

HRX-1632/HRX-835/HRX-435/HRX-434

特徴

本製品はネットワークカメラの映像及び音声をハードディスクに録画し、再生することができます。
また、ネットワークを利用して映像及び音声を遠隔地からPCを通じてモニタリングする環境を提供します。

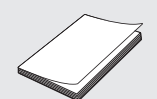
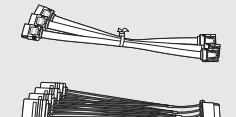
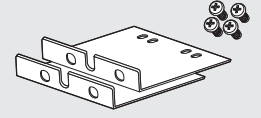
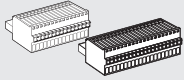
- 新型UI 2.0提供
- インスタント再生サポート
- ブックマーク機能
- サムネイル機能(ウェブビューアーでは未対応)
- カメライベントリストのリアルタイム表示
- 便利なイベント規則設定
- 様々なシーケンス(レイアウト、ページ)機能
- 外付けされた検索期間
- 便利なログ検索
- 熱画像カメラ/PTZ同期カメラサポート
- 様々な4Kカメラ解像度サポート(ただし、HRX-1632アナログカメラは4Mまで対応)
- HDMIを用いた4K高画質映像出力(HRX-835/HRX-435/HRX-434)
- デュアルモニター出力サポート(HRX-1632/HRX-835)
- 映像録画及び再生
- 音声録音及び再生
- ONVIF Profile S及び標準RTP/RTSPプロトコルサポート
- HDD SMART機能を用いたHDD情報及び状態表示
- HDD上書き機能
- USBメモリ及び外部HDDを用いたエクスポート機能
- 6、10、16チャンネル同時再生
- 再生マルチチャンネルのタイムライン表示
- 様々な検索モード(時間、イベント、スマート、テキスト、エクスポート、ARB)
- ARBサポート(チャンネル別の保存期間設定機能)
- 様々な保存モード(通常録画、イベント、予約録画)
- アラーム入力/出力機能
- ウィンドウのネットワークビューアを用いたリモート監視機能提供
- ネットワークカメラのライブモニタリングサポート
- インストールウィザード機能(本体、Web Viewer)
- P2Pサポートでスマートフォンのリモートモニタリングの扱いやすさをサポート
- スマートフォンのイベントアラーム提供(リアルタイムイベントメッセージ送信)

パッケージ内容

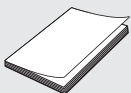
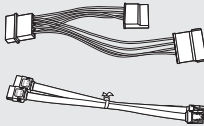
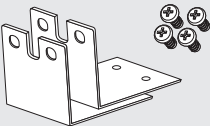


- 写真はイメージであり、実物と異なる場合がございます。
- 付属品の種類と数量は、販売地域によって異なる場合があります。
- 一部地域の場合、HDDは事前設置されてないことがあります。HDD装着用ネジ、SATAケーブルの数はHDD固定数によって異なる場合があります。

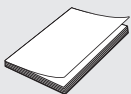
HRX-1632/HRX-835

		
レコーダー	マウス	クイックガイド
		
電源コード	SATAケーブル (4個)	HDD固定ねじ (16個)
		
ブラケットラック (2個)/ネジ(4個)	端子台 (HRX-1632: 15 ピン、20 ピン、 HRX-835: 12 ピン、15 ピン)	

HRX-435

		
レコーダー	マウス	クリックガイド
		
電源コード	電源アダプタ	SATAケーブル (2個)
		
HDD固定ねじ (8個)	ブラケットラック (2個)/ネジ(4個)	端子台(20 ピン)

HRX-434

		
レコーダー	マウス	クリックガイド
		
電源コード	電源アダプタ	SATAケーブル (1個)
		
HDD固定ねじ (4個)		

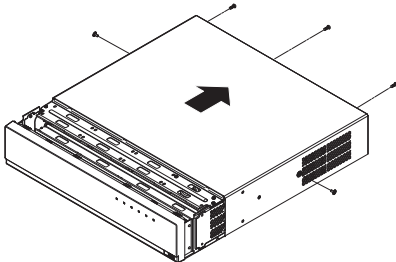
HDD搭載

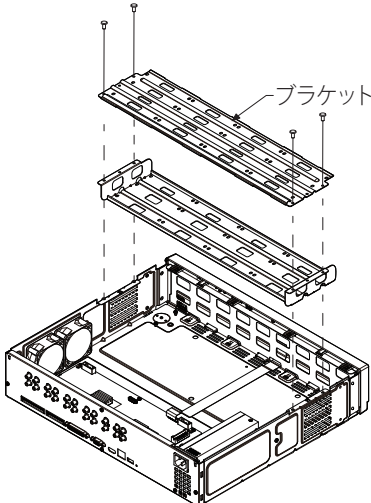
- 初期インストールの他に新しく追加された新規HDDや他の製品で使用していたHDDを本製品に搭載する場合、レコーダーで手動にフォーマットして使用してください。
- HDD交換及び追加搭載は、製品の購入先またはサービスセンターでのみ可能です。

HRX-1632/HRX-835

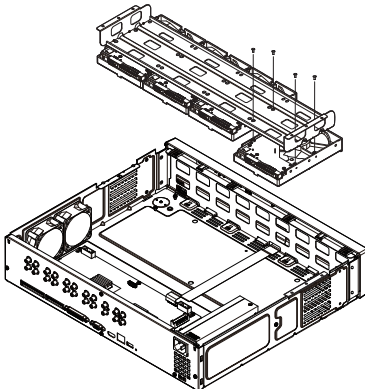
- 次の画像はHRX-1632モデル基準です。

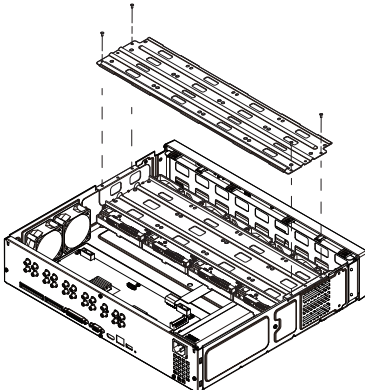
- 1 左/右側面と後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。


- 2 左/右側のネジを外してブラケットを分離してください。



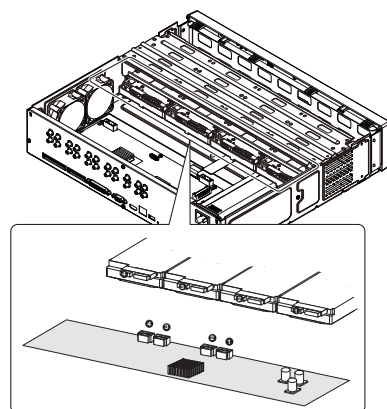
- 3 下にあるブラケットにHDD 4個を搭載した後、ネジで固定してください。


- 4 HDDが搭載されたブラケットをネジでレコーダーに固定してください。

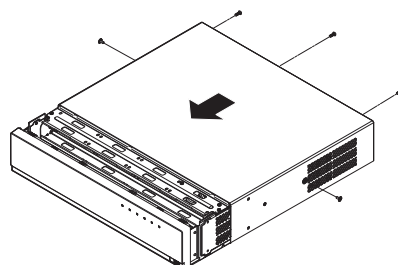

- ！ 振動によるHDD損傷防止のために、下にあるブラケットに優先搭載することを推奨します。

5 HDDのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクタに接続してください。

- HDDの位置番号とコネクタ番号は、下記の画像をご参照ください。

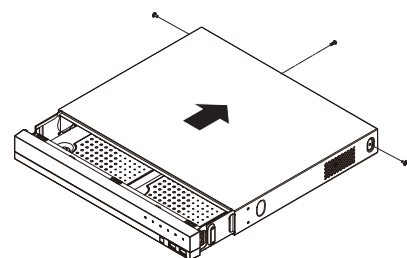


6 レコーダー内部の接続ポートと配線に問題ないか確認した後、カバーを閉じてネジで固定してください。

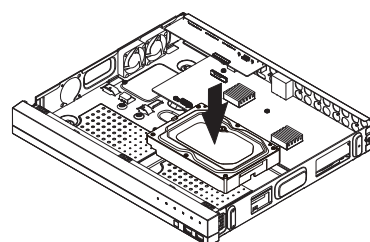


HRX-435

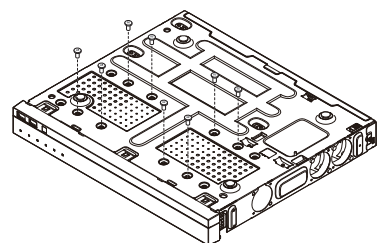
1 左/右側面と後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。



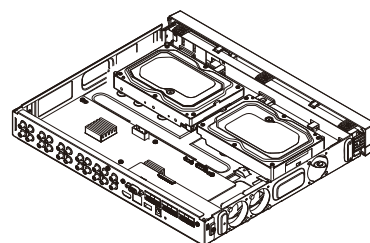
2 HDDのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクタに接続してください。



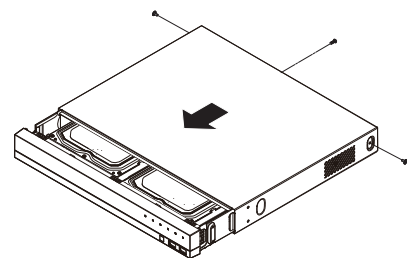
3 ネジでHDDをレコーダー下面に固定してください。



4 製品内部の接続ポートと配線に問題ないかを確認してください。

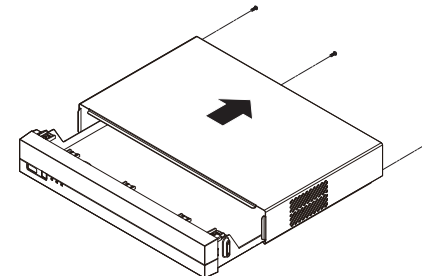


5 カバーを閉じてネジで固定してください。

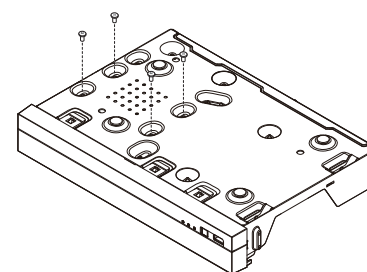


HRX-434

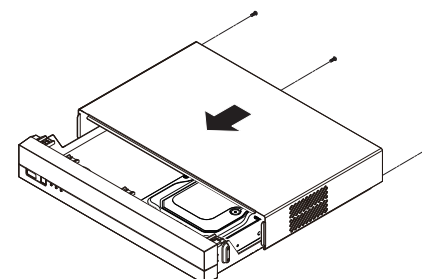
1 後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。



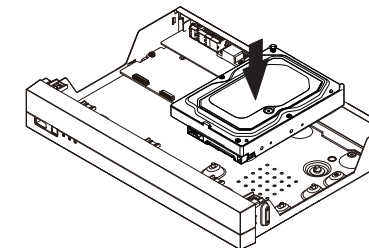
3 ネジでHDDをレコーダー下面に固定してください。



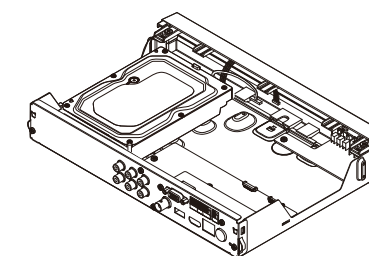
5 カバーを閉じてネジで固定してください。



2 HDDのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクタに接続してください。



4 製品内部の接続ポートと配線に問題ないかを確認してください。



インストールウィザード設定

以下のように<<インストールウィザード>>を段階別に行います。インストールウィザードは工場出荷時の設定でのみアクセスすることができます。設定したくない場合、<終了>をクリックしてください。

- インストールウィザードはレコーダーやWeb Viewerで設定することができます。Web Viewerでインストールウィザードを設定する方法は取扱説明書をご参照ください。
- レコーダーでインストールウィザードを完了すると、Web Viewerではインストールウィザードが表示されません。

1 言語設定

言語を選択してください。

2 ネットワーク設定

- DHCPサーバー: DHCPサーバーを実行に設定すると、カメラに自動でIPが割り当てられます。
- ネットワーク: カメラとウェブビューアーの接続のための共通ポートとして使用することができます。
- ネットワーク設定
 - IPタイプ: ネットワークの接続タイプを選択します。
 - IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS
- オンラインアップグレード使用
 - デバイスがネットワークに接続されると、新規ファームウェア通知を受信することができます。

※ 詳細ネットワーク設定情報は、製品取扱説明書をご参照ください。

▶ 簡単なイントラネットを使用するには、<次へ>ボタンをクリックしてください。

3 ストレージデバイスID/パスワード設定

管理者のパスワードを設定します。

※ <①>をクリックすると、パスワード設定のための基本ガイドが表示されます。パスワード設定ルールを確認してください。

4 カメラID&パスワード設定

- 4-1. 出荷条件初期化状態のカメラのパスワードを設定してください。カメラの初期パスワードは必須入力情報です。
- 4-2. カメラにID/パスワードがすでに設定された場合、該当ID/パスワードを登録した後、<次へ>ボタンをクリックしてください。

※ <①>をクリックすると、パスワード設定のための基本ガイドが表示されます。パスワード設定ルールを確認してください。

※ パスワードが出荷条件初期化状態の場合は一括変更して管理することができます。

※ パスワードが設定されたカメラIDやパスワードの登録は最大3セットまで可能です。

※ 「設定 > カメラ > カメラのパスワード」メニューで登録されているすべてのカメラのパスワードを一括変更できます。

※ ONVIF&RTSPに登録済みのカメラパスワードは変更できません。

5 日付/時間設定

日付、時間、標準時間帯、DSTを設定した後、<次へ>ボタンをクリックしてください。



※ 製品のリリースエリアによって標準時間帯の設定が異なります。

6 解像度設定

推奨解像度に設定するには、<適用>をクリックした後、<次へ>ボタンをクリックしてください。



7 カメラ登録

検索されたネットワークカメラを登録します。

7-1 検索されたカメラリストで登録するカメラを選択した後、<登録>ボタンをクリックしてください。

7-2 登録するカメラをリストで選択した後、<IP変更>ボタンをクリックしてください。

7-3 カメラ登録を完了した後、<次へ>ボタンをクリックしてください。



8 チャンネル設定

各チャンネルに登録済みのカメラ映像をサムネイル情報と一緒に分割モードで確認することができます。
カメラ映像の位置を変更するには映像を選択した後、お望みの位置にドラッグ&ドロップしてください。

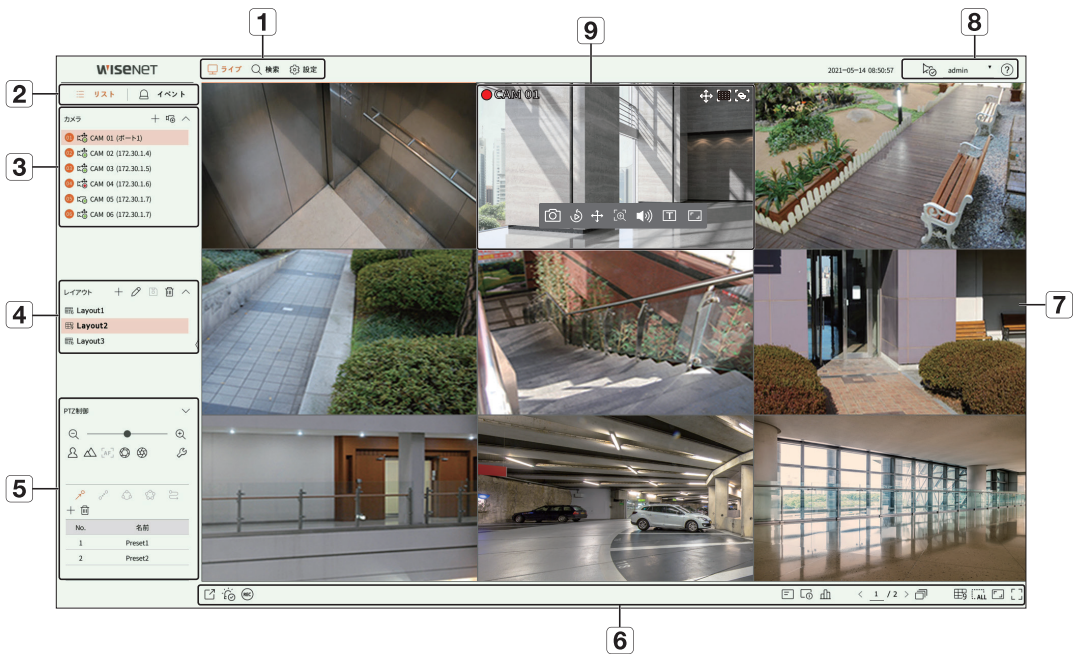


9 インストールウィザードを完了するには、<完了>ボタンをクリックしてください。

画面構成を確認する

レコーダーの画面は、以下のように構成されています。

- 
- 画面はユーザーが選択したメニューによって構成が異なります。

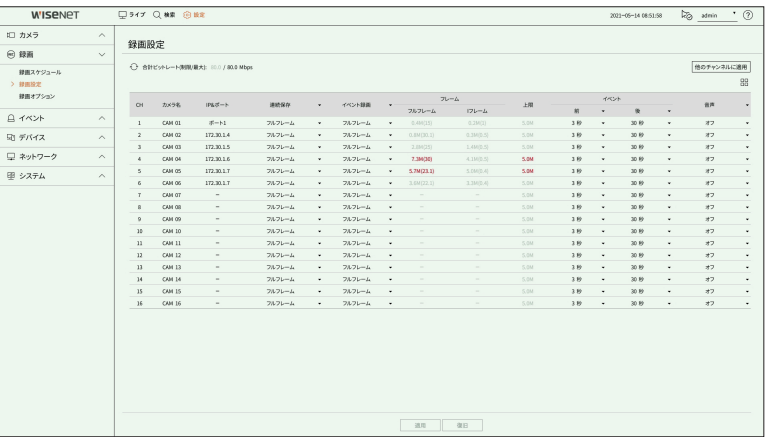


番号	画面構成	詳細機能説明
1	メニュー	各メニューをクリックすると、該当メニュー画面に移動します。
2	リスト/イベント	カメラリストまたはイベントリストを確認する時に選択します。
3	カメラリスト	≡ リストをクリックすると、レコーダーに登録されたカメラリストを表示します。 また、カメラを手動または自動に登録することができます。
	イベントリスト	≡ イベントをクリックすると、イベントリストを表示します。
4	レイアウトリスト	基本レイアウトや作成したレイアウトリストを表示します。 レイアウトリストのシーケンスを設定して再生することができます。
5	PTZ制御	レコーダーに接続されたPTZカメラを制御します。
6	機能ボタン	よくまたは緊急に使用する機能です。 (エクスポート、通知停止、手動保存、OSD情報表示、チャンネル情報、カメラ状態確認、画面自動切替、分割モード設定、すべての映像除去、アスペクト比変更、全画面モード切替)
7	映像ウィンドウ	レコーダーに接続されたカメラの映像を表示します。
8	システムの状況表示及び付加機能	- システム、HDD、ネットワークの状況を表示します。 - 接続したユーザーのIDを表示します。 - 取扱説明書をダウンロードするQRコードを表示します。
9	イベント表示及び映像制御機能	デバイスで発生したイベントを表示して映像制御関連機能を表示します。

録画設定

チャンネル別にイベント発生時及び標準録画時の解像度・録画フレームを設定できます。各チャンネルのフルフレーム及びキーフレーム録画のフレーム数及びデータ転送量を確認し、録画の制限するデータ量を設定できます。

設定 > 録画 > 録画設定



- 他のチャンネルに適用：<他のチャンネルに適用>を選択した場合、"他のチャンネルに適用"確認ウィンドウが表示されます。設定を適用するチャンネルを選択した後、<OK>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。
- 𠄎：チャンネルのカメラをリストまたはサムネイルに表示します。
- カメラ名：カメラ名が表示されます。
- IP&ポート：カメラのIPまたはポート位置を表示します。
- 通常録画、イベント：標準レコーディングとイベントレコーディングを設定します。
 - － フル：カメラから伝送されるすべてのフレームを録画します。
 - － Iフレーム：カメラから伝送されるキーフレームだけを録画します。カメラの設定によって異なります。
 - － オフ：録画しない。
- フレーム
 - － フル：フルフレームのデータ総量が表示されます。
 - － Iフレーム：キーフレームのデータ総量が表示されます。
- 制限：各チャンネルのカメラから受信可能なデータ量を設定します。
- イベント：イベントが発生したとき、どのポイントで録画を開始又は停止するかを設定できます。
 - － 前：イベントが発生したとき、設定した時刻の前から録画が開始されます。
5秒に設定した場合、録画はイベントが発生する5秒前に開始されます。
 - － 後：イベントが発生したとき、設定した時刻の後まで録画が継続されます。
5秒に設定した場合、録画はイベントが終わった後さらに5秒間継続されます。
- 音声：カメラから受信した音声を録音するかを選択します。

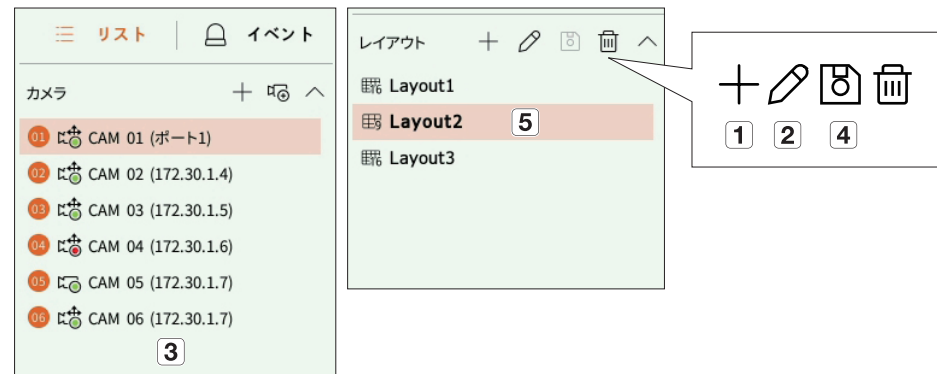
- 
- チャンネルのデータ転送が設定上許可された制限を超過した場合、他のチャンネルに影響がでる場合があり、チャンネルが<フル>録画モードに設定されているときであっても、<Iフレーム>録画へ強制的に切り替わる場合があります。キーフレーム録画チャンネルの場合、制限つき録画のアイコンがライブ画面の上部に表示されます。ただし、制限値の合計が、最大値よりも下の場合、各チャンネル用に許可するビットレートを超過しているかどうかに関係なく、フレーム全体を受信することができます。
 - 黄色く表示されるチャンネルは、カメラの録画データが入力されない場合に臨時録画のためカメラの他のプロファイルと交換して録画する場合を表しています。黄色で表示されたチャンネルの情報を見ると現在適用中のプロファイルを確認できます。オレンジ色で表示されるチャンネルは、カメラの入力データの量が制限データ量より多い場合です。
この場合、入力される全フレームを保存することができず、キーフレーム(1秒に1枚または2枚)のみ録画が可能となります。
制限データ量をに入力されるデータ量より大きく設定する必要があります。

レイアウト設定&実行

ライブ画面で設定したレイアウトを時間検索でも同じく使用してユーザーが設定したチャンネル手順とチャンネル組み合わせで検索して再生できます。

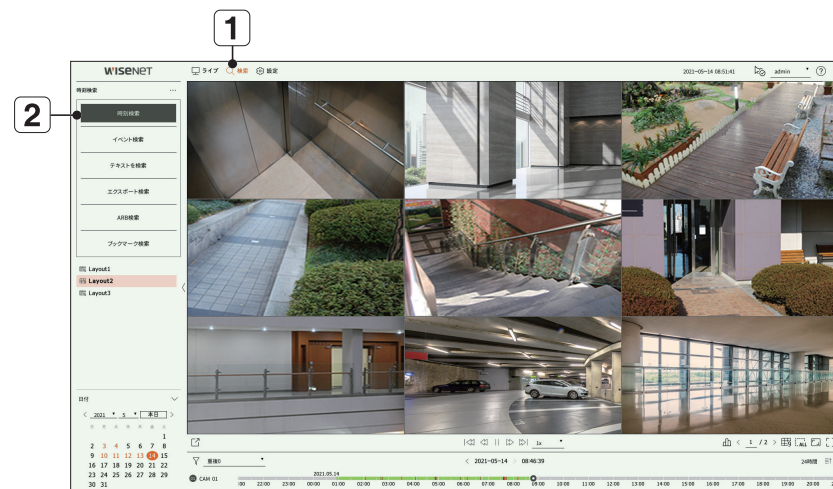
■ 各段階の詳細設定方法は、「製品取扱説明書」で参照ください。

1 ライブチャンネルのレイアウト設定



- 1 レイアウトを追加します。
- 2 レイアウト名を変更します。(例:Lobby 02)
- 3 カメラリストでレイアウトに表示するチャンネルをクリックして選択してください。
- 4 設定したレイアウトを保存してください。
- 5 レイアウトを選択すると、該当チャンネルグループにすぐ移動します。(例:Lobby 02に移動する。)

2 検索/再生



- 1 画面上部の<検索>をクリックしてください。
- 2 <時刻検索>をクリックしてください。

2-1 検索



- 1 ライブで作成したチャンネルグループの中でお望みのレイアウトを選択してください。
- 2 検索する日付を選択してください。
- 3 選択したチャンネルグループでお望みのチャンネルを選択してください。
- 4 タイムバーを動かすと、3番の図でプレビュー画面を確認することができます。
- 5 <▶>を押すと、選択したチャンネルが再生されます。

2-2 再生

再生を始めると検索日付や再生時間が表示され、再生速度を制御しながら録画された映像を検索することができます。



- 1 再生速度を制御したり、前または次のフレームに移動します。
- 2 レイアウトまたはチャンネル別にお望みの時間帯の録画映像をエクスポートします。
- 3 イベント項目をフィルタリングして録画映像を検索します。
- 4 時間変更による重複区間を設定してタイムラインを確認します。
- 5 チャンネル別のタイムラインを表示します。
- 6 4チャンネルのタイムラインを開けたり閉じます。

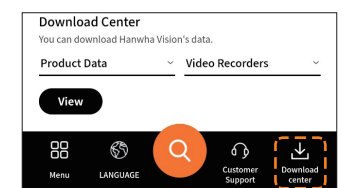
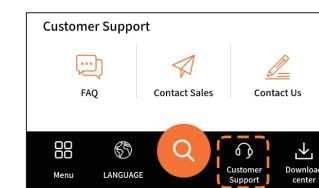
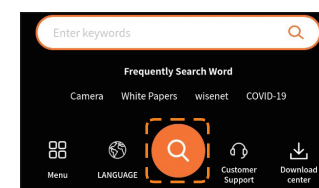
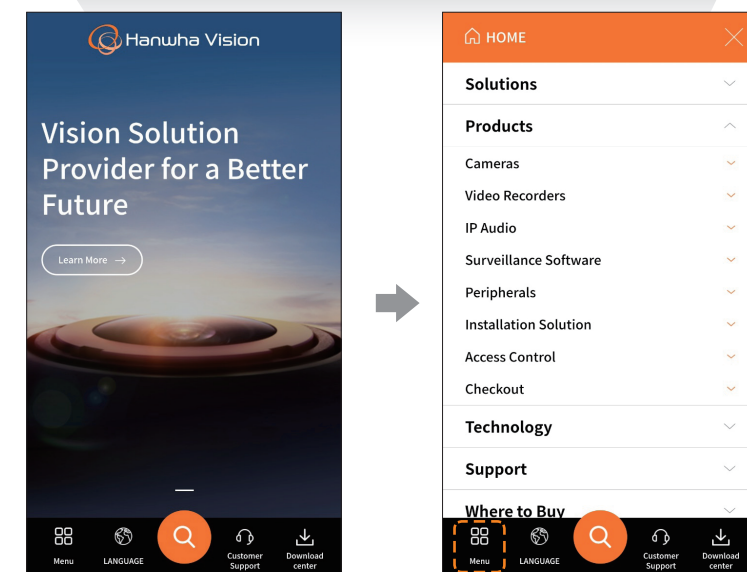
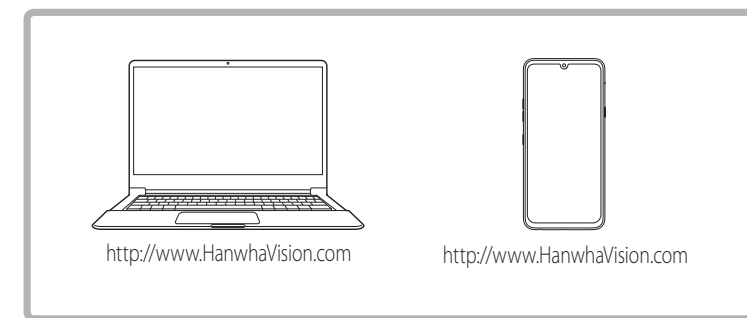
3 録画映像をエクスポートする



- ① 画面下部の<📄>を選択してください。
- ② レイアウトを選択してください。
- ③ チャンネルを選択してください。
- ④ エクスポートする時間、デバイス、形式、パスを設定してください。
- ⑤ <容量のチェック>をクリックしてエクスポートできるかどうかを確認してください。
- ⑥ <開始>をクリックしてエクスポートしてください。

製品INFOを活用する

ウェブサイトやスマートフォンのモバイルウェブで製品Info/マニュアル/ファームウェア情報/FAQ/HDD互換性リストなどを確認できます。



P2Pサービスを活用する

P2P機能に対応する製品にのみ提供する機能です。P2P機能に対応する製品は、製品仕様説明書の「**機能別に対応する製品(4ページ)**」をご参照ください。

P2Pサービスを使用する場合、簡単にWisnet mobileで接続して使用することができます。

- 1 <P2P有効>をチェックすると、現在該当レコーダーでリモート接続できるかアクセステストを行います。リストに製品が表示されます。

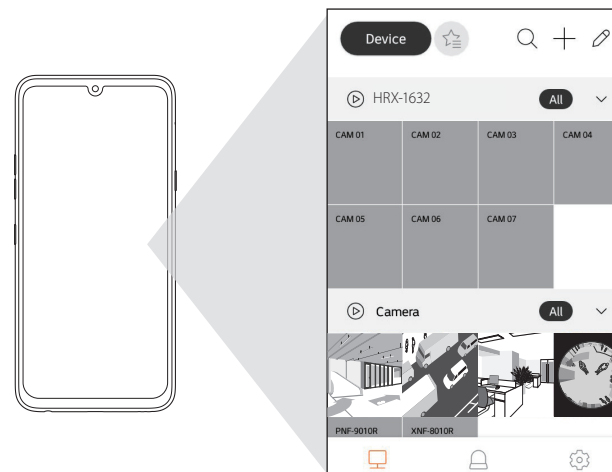


- 2 アクセスに成功すると、スマートフォンにWiseNet mobileを検索してインストール&実行してください。
 - デバイス追加 > QRコードを選択すると、レコーダーのQRコードをスキャンすることができます。

- 3 QRコードをスキャンすると、レコーダーに表示されるデバイスIDがモバイルビューアーIDに自動反映され、レコーダーのID/パスワードを入力すると、すぐにモバイルビューアーを使用することができます。



- 4 その後からはスマートフォンに保存したWiseNetモバイルアプリを実行すると、レコーダーに自動アクセスされ、スマートフォンで簡単にモニタリングすることができます。



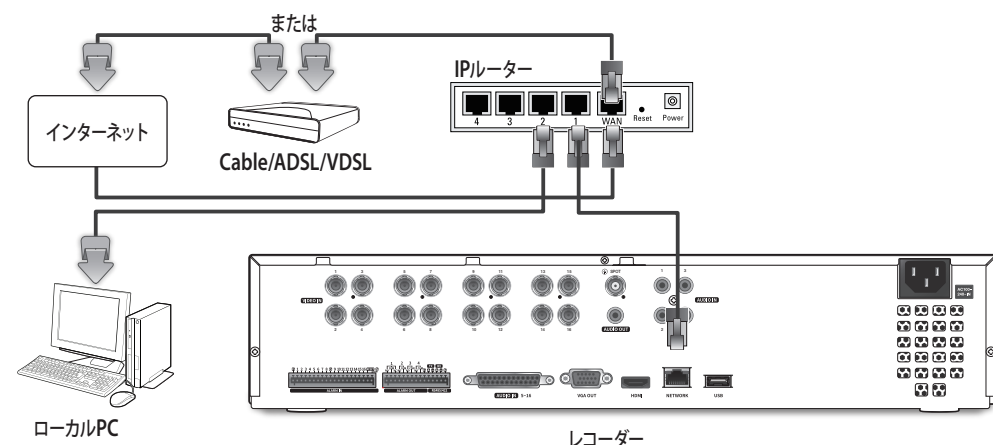
- P2Pサービス有効期間は3年で、有効期間以後の延長使用を希望する場合には営業店にお問い合わせください。

ルーターを用いてネットワーク接続

xDSL/Cable Modemを使用する環境でPCとレコーダー1～3台を追加して使用する場合、1つのインターネットラインだけでルーターを用いて使用できます。

本ガイドは、ネットワーク非専門家のためのインストールガイドです。説明に従ってルーター、ローカルPC、レコーダーを設定してください。

ケーブル接続



PCとルーター接続

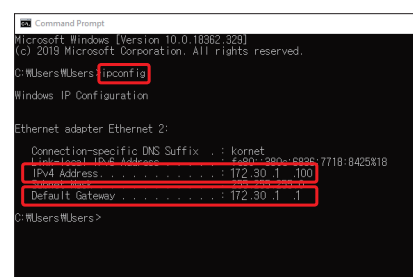
- ルーターの取扱説明書をご参照ください。

レコーダーとルーター接続

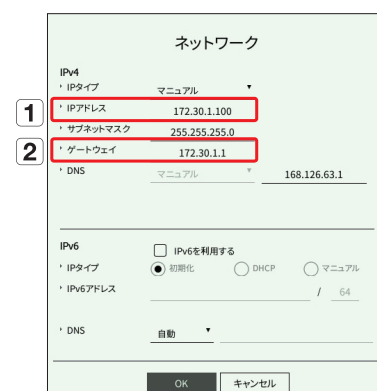
レコーダーの<ネットワーク>設定メニューの<インターフェース>に移動した後、<設定>項目で①<IPアドレス>と②<ゲートウェイ>を設定。

※ ローカルPCの[cmd.exe]で確認した<デフォルトゲートウェイ>とレコーダーの<ゲートウェイ>を同じく設定する必要があります。

※ レコーダーの<IPアドレス>は、ローカルPCの[cmd.exe]で確認した<デフォルトゲートウェイ>と3番目の番号まで同じく設定する必要があります。



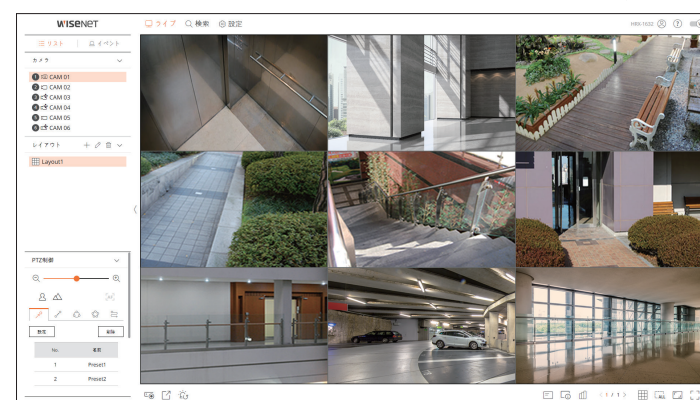
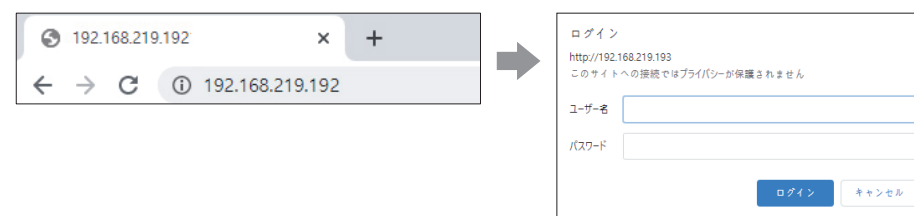
<cmd画面>



<レコーダー画面の例>

PCでレコーダー接続確認

ローカルPCアドレスウィンドウにストレージデバイスメニューで設定したIPを入力してください。ユーザー名とパスワードを入力してログインすると、ストレージデバイスのウェブビューアー画面が表示されます。



システム要件

下記は、ウェブビューアーが動作するのに必要な最低限推奨されるハードウェアとOSの要件です。

- 推奨ブラウザ: Edge、Chrome
- 対応ブラウザ: Chrome、Edge、Safari
- 対応OS: Platform 独立的なウェブの特性上 Windows、Linux、OS X 環境ですべて動作できます。
- 検証環境: Windows® 10のEdge 83、Google Chrome™ 83、NVIDIA® GeForce® GTX™ 1050が含まれた Intel® Core™ i7-7700 プロセッサ 3.60Ghz または Intel™ HD Graphics 630 でテスト及び検証されました。
- 性能制約事項: ウェブビューアーの映像再生性能は、ユーザーのCPU/GPU性能に影響されることがあります。

ルーターとインターネットの接続設定

各ルーターによって、インターネットの接続設定方法がことなるため、各ルーターによる設定方法をご確認ください。

ルーターでポートフォワーディング設定

外部からルーターのローカルLANが接続されたPCやレコーダーにアクセスするためには、ルーターのポートフォワーディングを設定してください。

レコーダーでは、<RTSPポート>、<HTTPポート>、<HTTPSポート>、CAMプロキシポートを使用します。使用するすべてのポートのポートフォワーディングを設定する必要があります。

※ <HTTPポート>だけポートフォワーディングを設定した場合、映像転送ポートである<RTSPポート>がポートフォワーディングされなかったため、アクセスは可能でも映像は表示されません。

※ <RTSPポート>だけポートフォワーディングを設定した場合、ウェブアクセスポートである<HTTPポート>がポートフォワーディングされなかったため、アクセスできません。

※ ルーターの取扱説明書をご参照ください。

動的IP環境でDDNSアドレスを用いてアクセス

xDSL/Cableモデムと同じ動的IP環境では、ルーターのWAN IPが変更される場合があるため、当社はDDNS(Dynamic Domain Name Server)サービスを提供して動的IP環境からでも、常にDDNSアドレスだけでレコーダーにアクセスできるようにしています。

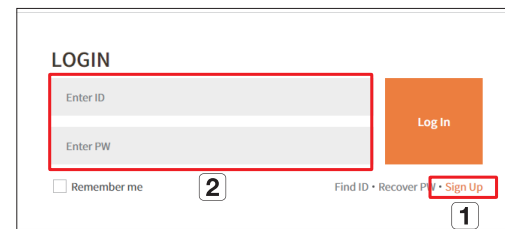
Wisenet DDNS設定

レコーダーをリモートでアクセスすることになるため、先にPCを用いてWisenet DDNSのアカウントを設定してください。

- 1 ブラウザを開いてddns.hanwha-security.comに接続した後、<Log in>をクリックしてください。

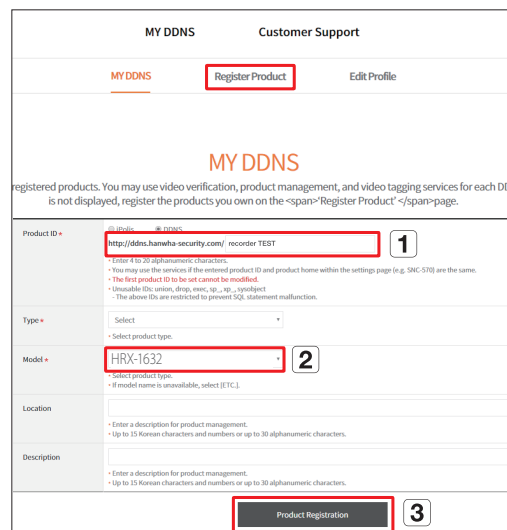


- 2 <Sign Up>をクリックしてください。



- 1 ウェブサイトのアカウント登録指示に従ってください。
- 2 アカウント登録を完了した後、ログインしてください。

- 3 <Register Product>タブをクリックしてユーザーアカウントにレコーダーを追加してください。



- 1 レコーダーに対する名称(製品ID)を作成してください。
- 2 レコーダーの区分、モデル名を選択してください。
- 3 <Product Registration>をクリックしてください。

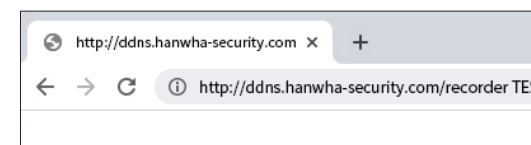
DDNSアドレスを用いて接続する

- 1 レコーダーの設定メニューでDDNSサイトを選択して製品IDを入力してください。

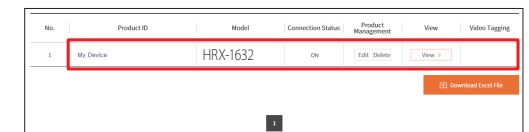


- 1 <ネットワーク>メニューの<サーバー>で<ddns.hanwha-security.com>を選択してください。
- 2 <製造ID>にWisenet DDNSウェブサイトで作成した製品IDを入力してください。
- 3 DDNS設定完了後、<適用>を選択してください。

- 3 ローカルPCアドレスウィンドウにレコーダーで設定したDDNSホストアドレスのhttp://ddns.hanwha-security.com/recorder TESTに接続すると、レコーダーに接続することができます。また、2番項目の<View>をクリックすると、レコーダーに接続することができます。

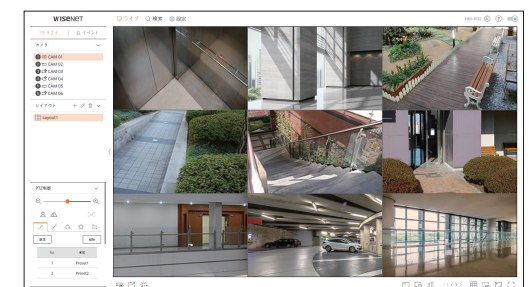


- 2 ddns.hanwha-security.comに接続して登録した製品の接続状態が<ON>になっているか確認してください。



<Wisenet DDNSの設定画面>

- 4 レコーダーのWeb Viewerの画面が表示されます。



すべての設定が完了されました。

DDNSアドレスとID/パスワードを覚えてください。そうすると、インターネットに接続されたすべてのPCでレコーダーにアクセスできます。

以後の使用法は、取扱説明書をご参照ください。



Hanwha Visionでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Visionの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。

